

科目名	中小企業論			
授業形態	講義	学年	2	
開講時期	2021年度 後期	単位数	2	
担当教員	青木 孝弘			
内容および計画	本講座は、日本の企業数の99%以上を占める中小企業を対象とし、その特徴や経済的、社会的役割について学習します。特に近年、高い技術力を持つ中小企業がイノベーションを牽引する事例に注目が集まる中、一方では後継者問題から廃業に追い込まれる事例も多くみられます。本講座では、大企業と中小企業との関係や、国の中小企業政策、海外中小企業との比較、中小企業間のネットワークなど多面的な視点から中小企業を捉える目を養い、中小企業の多様性について理解を深めます。			
1	ガイダンス（授業の進め方、評価方法、受講者の関心等） 中小企業の調べ方			
2	中小企業とイノベーション			
3	日本経済と中小企業			
4	国と自治体の中小企業政策			
5	大企業と中小企業			
6	下請けシステム			
7	海外の中小企業			
8	これまでのまとめ（中間試験）			
9	国際化と中小企業			
10	事業継承と中小企業			
11	地域経済と中小企業			
12	産業集積とネットワーク			
13	中小企業金融			
14	起業と経済活性化			
15	ベンチャー企業			
教科書				
	タイトル	著者名	出版社	発行年
	『中小企業・ベンチャー企業論[新版]』	植田浩史他著	有斐閣	9784641164314 2014
その他、講義資料・データ等を配布します。				
参考書	渡辺幸男他（2013）『21世紀中小企業論[第3版]』有斐閣 中小企業庁編（2018）『中小企業白書』 中小企業庁編（2018）『小規模企業白書』 経済産業省・厚生労働省・文部科学省編（2018）『ものづくり白書』			
成績評価				
	評価方法	割合(%)		
	筆記試験（中間試験・期末試験）	70		
	レポート課題	20		
	授業への積極的な参加、貢献（出席、報告、ミニッツペーパー）	10		

<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆記試験は、中間と期末（選択式論述問題）に行います。</li> <li>・報告1回と課題レポートを1回、実施します。</li> <li>・各回出席状況を確認します。</li> </ul>	
<b>学習到達目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業についての基礎知識を習得すること。</li> <li>・高い業績を挙げる、中小企業の戦略や組織について、自分なりの考えが持てるようになること。</li> </ul>
<b>先修条件</b>	
<b>実務経験</b>	<p>実務経験あり：名古屋市内の会計事務所（3年）、ワシントンDCの経営支援組織（1年）において会計支援・コンサルティング業務に従事後、地域活性化分野で社会的企業を創業。コミュニティビジネス、観光まちづくり、地場産業振興に15年以上従事してきた。この経験をもとに、中小企業が抱える構造的課題とそれを解決する戦略について教授する。</p>
<b>その他</b>	<p>中小企業は多くの人にとって働く場であり、自己実現の場です。中小企業の豊かさを知ることは、地域の豊かさで自分の豊かな可能性を拓くことにもつながります。</p> <p>一部予定を変更し、企業家のゲストスピーチを取り入れる場合もあります。</p>